

四晴会自治会

会長 榎本 徹



四晴会自慢の地域運動会

バス停の名前に使用されてい

四晴会自治会の発足は昭和32年。半世紀を超える活動歴史があり、公民館も当初のまま現在も使用している。

会員は約500世帯で、役員20数名と45班で組織し、自治会と育てる会を構成している。

地域内は、戸建と最近ではマンション等の共同住宅が多くなっており、若年世帯が多く学校における児童数が増加しているが、自治会への加入世帯は増えていない。

育てる会活動としては、

夏休みの初めに親子運動会を行い、12月初めには餅つき大会を、白子小学校校庭を借りて実施している。参加者は毎年200名以上と盛況である。他に夏季スポーツ大会にも毎年参加し成果を残している。

10月初めには恒例の熊野神社の祭礼に合わせて「四晴会地域秋祭り」を市場下公園の会場で実施している。これは当自治会としての最大の行事である。祭りの進行は、午前は子供神輿を地内巡行し、午後は白子北地区5自治会の子供神輿と、各自自治会の休憩所経由で巡行を例年実施している。又自治会連合会によるゴミゼロ運動も、本年度は2回実施し、延一〇〇数名の自治会員の参加を頂いている。

自治会員においても、和

光市より「美しい街づくり心から感謝」として通学路の草花の美化運動の実施成果として表彰を頂いている。

防災活動では、昨年度和光市地域防災訓練を白子小学校で実施された際、役員と多くの会員が参加した。当自治会の一時的避難場所として、城山地域センターに集合し、その後白子小学校で避難・救護訓練・初期消火訓練及びAED操作体験をした。四晴会の防災倉庫は市場下公園の一部を借りて防災時の対策用備品を収納している。今後更に、防災訓練、防災品の資機材等の整備をし、地域に於いての防災啓発活動として合わせて進めていきたい。

防犯活動は、市内一斉パトロール、年末の夜間地域防犯パトロールを役員主体

に毎年の行事として、北地区5町会と連携し毎年継続実施している。

その他地域活動として、白子小学校の「桜祭り」への参加及び学校環境応援団での校庭内樹木の剪定、周囲の落ち葉掃き作業、児童登下校時の「子供を守る家」等安心・安全の活動を他近隣自治会と行っている。

社会福祉協議会指導の地域福祉活動では地域内のお年寄りとの交流を図っている。

和光市の社会福祉活動に關しては、「共同募金、歳末助け合い募金」活動を実施している。

今後とも地域活動の実態を会員と行政の情報を密にし、協働しながら地域づくりを進めて行きたいと考えている。

四晴会自治会は、白子三丁目の北地区に位置し、白子小学校から吹上観音近く迄、オリンピック道路から白子川迄の広域である。旧地域呼称は、城山と市場地区といい、現在もその名が